



FabricPoolミラーの管理

ONTAP 9

NetApp
February 12, 2026

目次

FabricPoolミラーの管理	1
ONTAP FabricPoolミラーについて学ぶ	1
ONTAP FabricPoolミラーを作成する	1
ONTAP FabricPoolミラーの詳細を表示する	2
ONTAP FabricPoolミラーを昇格する	3
ONTAP FabricPoolミラーを削除する	4
既存のオブジェクト ストアをONTAP FabricPoolミラーに置き換える	4
ONTAP MetroCluster 構成で FabricPool ミラーを交換する	6

FabricPoolミラーの管理

ONTAP FabricPoolミラーについて学ぶ

災害発生時にデータストア内のデータへのアクセスを確保し、データストアの交換を可能にするために、2つ目のデータストアを追加して FabricPool ミラーを構成し、データを2つのデータストアに同期的に階層化することができます。新規または既存の FabricPool 構成に2つ目のデータストアを追加し、ミラーのステータスを監視したり、FabricPool ミラーの詳細を表示したり、ミラーを昇格させたり、ミラーを削除したりできます。ONTAP 9.7以降を実行している必要があります。

ONTAP FabricPoolミラーを作成する

FabricPool ミラーを作成するには、2つのオブジェクトストアを1つの FabricPool に接続します。既存の単一オブジェクトストア FabricPool 構成に2つ目のオブジェクトストアを接続することで FabricPool ミラーを作成することも、新しい単一オブジェクトストア FabricPool 構成を作成してから2つ目のオブジェクトストアを接続することもできます。MetroCluster 構成でも FabricPool ミラーを作成できます。

開始する前に

- `storage aggregate object-store config` コマンドを使用して2つのオブジェクト ストアをすでに作成しておく必要があります。
- オンプレミスのMetroCluster構成でFabricPoolミラーを作成する場合：
 - MetroClusterのセットアップと設定がすでに完了している必要があります
 - 選択したクラスターにオブジェクト ストア構成を作成しておく必要があります。

両方のクラスターでMetroCluster構成のFabricPoolミラーを作成する場合、両方のクラスターでオブジェクトストア構成を作成している必要があります。

- MetroCluster構成にオンプレミスのオブジェクト ストアを使用していない場合は、次のいずれかのシナリオが存在することを確認する必要があります：
 - オブジェクト ストアは異なるアベイラビリティ ゾーンに存在します
 - オブジェクト ストアは、複数のアベイラビリティ ゾーンにオブジェクトのコピーを保存するように構成されている

["MetroCluster構成でのFabricPool用オブジェクト ストアのセットアップ"](#)

タスク概要

FabricPoolミラーに使用するオブジェクト ストアは、プライマリ オブジェクト ストアとは異なる必要があります。

FabricPoolミラーを作成する手順は、MetroCluster構成と非MetroCluster構成の両方で同じです。

手順

1. 既存のFabricPool構成を使用していない場合は、`storage aggregate object-store attach`コマンドを使用してオブジェクト ストアをローカル層に接続し、新しい構成を作成します。

この例では、オブジェクト ストアをローカル層に接続して新しいFabricPoolを作成します。

```
cluster1::> storage aggregate object-store attach -aggregate aggr1 -name my-store-1
```

2. `storage aggregate object-store mirror`コマンドを使用して、2番目のオブジェクト ストアをローカル層に接続します。

この例では、2 番目のオブジェクト ストアをローカル階層に接続してFabricPoolミラーを作成します。

```
cluster1::> storage aggregate object-store mirror -aggregate aggr1 -name my-store-2
```

関連情報

- ["storage aggregate object-store attach"](#)
- ["ストレージ アグリゲート オブジェクトストア設定"](#)
- ["ストレージ アグリゲート オブジェクトストア ミラー"](#)

ONTAP FabricPoolミラーの詳細を表示する

FabricPoolミラーに関する詳細を表示して、構成に含まれるオブジェクト ストアと、オブジェクト ストア ミラーがプライマリ オブジェクト ストアと同期されているかどうかを確認できます。

手順

1. `storage aggregate object-store show`コマンドを使用してFabricPoolミラーに関する情報を表示します。

この例では、FabricPoolミラー内のプライマリ オブジェクト ストアとミラー オブジェクト ストアの詳細を表示します。

```
cluster1::> storage aggregate object-store show
```

Aggregate	Object Store Name	Availability	Mirror Type
aggr1	my-store-1	available	primary
	my-store-2	available	mirror

この例では、再同期操作によりミラーが劣化したかどうかを含む、FabricPool ミラーに関する詳細を表示します。

```
cluster1::> storage aggregate object-store show -fields mirror-type,is-mirror-degraded
```

aggregate	object-store-name	mirror-type	is-mirror-degraded
aggr1	my-store-1	primary	-
	my-store-2	mirror	false

関連情報

- ["storage aggregate object-store show"](#)

ONTAP FabricPoolミラーを昇格する

オブジェクトストアミラーを昇格させることで、プライマリオブジェクトストアとして再割り当てできます。オブジェクトストアミラーがプライマリになると、元のプライマリは自動的にミラーになります。

開始する前に

- FabricPoolミラーは同期している必要があります
- オブジェクトストアが動作している必要があります

タスク概要

元のオブジェクトストアを、別のクラウドプロバイダのオブジェクトストアに置き換えることができます。例えば、元のミラーがAWSオブジェクトストアだったとしても、Azureオブジェクトストアに置き換えることができます。

手順

1. `storage aggregate object-store show-resync-status` コマンドを使用して、FabricPoolミラーが同期されていることを確認します。FabricPoolミラーが同期されている場合、エントリは表示されません。ミラーが同期されていない場合は、再同期が完了するまで待ちます。

```
aggregate1::> storage aggregate object-store show-resync-status  
-aggregate aggr1
```

Aggregate	Primary	Mirror	Complete Percentage
aggr1	my-store-1	my-store-2	40%

2. `storage aggregate object-store modify -aggregate` コマンドを使用してオブジェクトストアミラーを昇格します。

```
cluster1::> storage aggregate object-store modify -aggregate aggr1 -name  
my-store-2 -mirror-type primary
```

関連情報

- ["ストレージ アグリゲート オブジェクトストアの変更"](#)
- ["storage aggregate object-store show-resync-status"](#)

ONTAP FabricPoolミラーを削除する

オブジェクト ストアをレプリケートする必要がなくなった場合は、FabricPoolミラーを削除できます。

開始する前に

プライマリ オブジェクト ストアが動作している必要があります。動作していないとコマンドは失敗します。

手順

1. `storage aggregate object-store unmirror -aggregate` コマンドを使用して、FabricPool内のオブジェクト ストア ミラーを削除します。

```
cluster1::> storage aggregate object-store unmirror -aggregate aggr1
```

関連情報

- ["storage aggregate object-store unmirror"](#)

既存のオブジェクト ストアをONTAP FabricPoolミラーに置き換える

FabricPoolミラー テクノロジを使用して、あるオブジェクト ストアを別のオブジェクト ストアに置き換えることができます。新しいオブジェクト ストアは元のオブジェクト ストアと同じクラウド プロバイダを使用している必要はありません。

タスク概要

別のクラウド プロバイダを使用するオブジェクト ストアで置き換えることができます。たとえば、AWSをクラウド プロバイダとして使用しているオブジェクト ストアがAzureを使用するオブジェクト ストアに置き換えることも、その逆も可能です。ただし、オブジェクト サイズは新しいオブジェクト ストアと元のオブジェクト ストアで同じである必要があります。

手順

1. `storage aggregate object-store mirror` コマンドを使用して、既存のFabricPoolに新しいオブジェクト ストアを追加してFabricPoolミラーを作成します。

```
cluster1::> storage aggregate object-store mirror -aggregate aggr1
-object-store-name my-AZURE-store
```

2. `storage aggregate object-store show-resync-status` コマンドを使用してミラーの再同期ステータスを監視します。

```
cluster1::> storage aggregate object-store show-resync-status -aggregate aggr1
```

Aggregate	Primary	Mirror	Complete Percentage
-----	-----	-----	-----
aggr1	my-AWS-store	my-AZURE-store	40%

3. `storage aggregate object-store> show -fields mirror-type,is-mirror-degraded` コマンドを使用して、ミラーが同期されていることを確認します。

```
cluster1::> storage aggregate object-store show -fields mirror-type,is-mirror-degraded
```

aggregate	object-store-name	mirror-type	is-mirror-degraded
-----	-----	-----	-----
aggr1	my-AWS-store	primary	-
	my-AZURE-store	mirror	false

4. `storage aggregate object-store modify` コマンドを使用して、プライマリ オブジェクト ストアをミラー オブジェクト ストアと交換します。

```
cluster1::> storage aggregate object-store modify -aggregate aggr1
-object-store-name my-AZURE-store -mirror-type primary
```

5. `storage aggregate object-store show -fields mirror-type,is-mirror-degraded` コマンドを使用して、FabricPoolミラーの詳細を表示します。

次の例はFabricPoolミラーに関する情報を表示したもので、ミラーがデグレード状態（同期されていない状態）になっているかどうか含まれます。

```
cluster1::> storage aggregate object-store show -fields mirror-type, is-mirror-degraded
```

aggregate	object-store-name	mirror-type	is-mirror-degraded
aggr1	my-AZURE-store	primary	-
	my-AWS-store	mirror	false

6. `storage aggregate object-store unmirror` コマンドを使用して FabricPool ミラーを削除します。

```
cluster1::> storage aggregate object-store unmirror -aggregate aggr1
```

7. `storage aggregate object-store show -fields mirror-type,is-mirror-degraded` コマンドを使用して、FabricPool が単一オブジェクト ストア構成に戻っていることを確認します。

```
cluster1::> storage aggregate object-store show -fields mirror-type,is-mirror-degraded
```

aggregate	object-store-name	mirror-type	is-mirror-degraded
aggr1	my-AZURE-store	primary	-

関連情報

- ["ストレージ アグリゲート オブジェクトストア ミラー"](#)
- ["ストレージ アグリゲート オブジェクトストアの変更"](#)
- ["storage aggregate object-store show-resync-status"](#)
- ["storage aggregate object-store show"](#)
- ["storage aggregate object-store unmirror"](#)

ONTAP MetroCluster 構成で FabricPool ミラーを交換する

FabricPool ミラー内のオブジェクト ストアの 1 つが破壊されたり、MetroCluster 構成上で永続的に使用できなくなったりした場合は、そのオブジェクト ストアがまだミラーになっていない場合はミラーにして、破損したオブジェクト ストアを FabricPool ミラーから削除し、新しいオブジェクト ストア ミラーを FabricPool に追加することができます。

手順

1. 破損したオブジェクト ストアがまだミラーになっていない場合は、`storage aggregate object-store modify` コマンドを使用してオブジェクト ストアをミラーにします。

```
storage aggregate object-store modify -aggregate -aggregate fp_aggr1_A01 -name mccl_ostore1 -mirror-type mirror
```


2. `storage aggregate object-store unmirror` コマンドを使用して、FabricPoolからオブジェクト ストア ミラーを削除します。

```
storage aggregate object-store unmirror -aggregate <aggregate name>
-name mccl_ostore1
```

3. `storage aggregate object-store modify` と `-force-tiering-on-metrocluster true` オプションを使用してミラー データ ストアを削除した後、プライマリ データ ストアで階層化を強制的に再開できます。

ミラーがないと、MetroCluster構成のレプリケーション要件が妨げられます。

```
storage aggregate object-store modify -aggregate <aggregate name> -name
mccl_ostore1 -force-tiering-on-metrocluster true
```

4. `storage aggregate object-store config create` コマンドを使用して、置換オブジェクト ストアを作成します。

```
storage aggregate object-store config create -object-store-name
mccl_ostore3 -cluster clusterA -provider-type SGWS -server <SGWS-server-
1> -container-name <SGWS-bucket-1> -access-key <key> -secret-password
<password> -encrypt <true|false> -provider <provider-type> -is-ssl
-enabled <true|false> ipspace <IPSpace>
```

5. `storage aggregate object-store mirror` コマンドを使用して、オブジェクト ストア ミラーをFabricPoolミラーに追加します。

```
storage aggregate object-store mirror -aggregate aggr1 -name
mccl_ostore3-mc
```

6. `storage aggregate object-store show` コマンドを使用してオブジェクト ストア情報を表示します。

```
storage aggregate object-store show -fields mirror-type,is-mirror-
degraded
```

aggregate	object-store-name	mirror-type	is-mirror-degraded
aggr1	mccl_ostore1-mc	primary	-
	mccl_ostore3-mc	mirror	true

7. `storage aggregate object-store show-resync-status` コマンドを使用してミラーの再同期ステータスを監視します。

```
storage aggregate object-store show-resync-status -aggregate aggr1
```

Aggregate	Primary	Mirror	Complete Percentage
-----	-----	-----	-----
aggr1	mcc1_ostore1-mc	mcc1_ostore3-mc	40%

関連情報

- ["storage aggregate object-store config create"](#)
- ["ストレージ アグリゲート オブジェクトストア ミラー"](#)
- ["ストレージ アグリゲート オブジェクトストアの変更"](#)
- ["storage aggregate object-store show"](#)
- ["storage aggregate object-store show-resync-status"](#)
- ["storage aggregate object-store unmirror"](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。